

ながじゅう 倶楽部通信 No.9



発行
長住建設(株)

長浜市大成亥町 1001
TEL 0749-63-1611
FAX 0749-64-0661
ホームページ
http://www.nagajyu.jp
編集: 松居、一居、吉川、熊谷
イラスト: 奥川

「建設サービス業」とは「よろず相談所」

「滋賀県湖北地エリアを中心に、公共建築をはじめ、工場・アパートや店舗・事務所などの一般建築やそれらの改修工事から、自由設計の注文住宅・リフォーム増改築まで、様々な建築に幅広く携わる滋賀県一号ランクの総合建設会社です。」

私たちは自社のことを右のように説明しておりますが、皆様は私たちの会社をどのように見て頂いているでしょうか？ 私たちが日頃使っています「建設サービス業」という言葉や弊社の業務について、「自分たちが思っているほど、周りの人はうちの事をそこまで知ってもらっているだろうか？」と考えさせられる事があります。

今までご縁を頂いたお客様からは、「他社に相談してもまともに相手してもらえなかった」「誰に頼んでもいがかからなかった」という感謝の声を頂く半面、「お宅は住宅の会社で、事務所や工場の改修や建築などをしていとは思わなかった」という誤解があったり、「設計や建築だけでなく、ローンのお手伝いから、登記、税金、土地の紹介など全て当社が行います。」と私たちが当たり前のように申しますと、「そんな事までしてくれるの!」と驚かれるお客様もおられます。

私たちの仕事は最終的には建築(設計や施工)ですが、まずはおお客様の思いをお聞かせ頂くことが大切で、その思いを実現するには様々なことをクリアしなければなりません。建築のプロである以上、私たちはそれらを丸ごと対応するのが当たり前だと思ってお手伝いしておりますが、皆様に私たちが実際に行っている「建設サービス業」について、まだまだ正しくお伝え出来ていないのではないかと思います。この場を借りて、改めて弊社の考えをお伝えさせて頂きたいと思っております。

当社は「よろず相談所」です。どんな事でも結構です。お気軽にご相談下さい。建物のあらゆるご相談から、建築に直接関係のないことまで何でも結構です。例えば経営の事、ご家族のこと、将来のこと・・・等々。親身になってご相談にのりさせて頂きます。当社で対応できるものは出来る限り対応いたしますし、もし当社の手に余る場合はその方法をお伝えしたり、その道のプロをご紹介したり致します。

当社の会社案内にも記載しておりますが、

『長住建設に頼めばどんな相談にも応じてくれる』

これが建設サービス業の心であり当社の原点と考えております。内容や金額の大小ではありません。お一人お一人の思いを実現したい。

その気持ちだけで私たちは日々活動しております。弊社も8月で35年目を迎えます。その節目に際し、建設サービス業の原点・「心」を忘れず、皆様のお役に立つ企業であるよう全社員一丸となり、一日一日を精一杯励んでいきたいと思っております。

専務取締役 松居 慶浩

繁盛店紹介

長浜公証人役場

公証人 枝松 宏様

「公証人」という言葉、皆さん馴染みがないかも知れませんが意外と私たちの生活にも関わりのあることが多いのをご存知ですか？今回は皆さんにそんな「公証人」さんの事をより身近に感じて頂きたいと思い、ご紹介させて頂くことに致しました。

公証人役場さんは以前、長浜日赤病院の近くにありました。以前からお付き合いのあった当社に枝松先生自らご依頼頂き、土地のお世話から設計施工までの全てを当社で行わせて頂きました。

公証人制度とは明治時代から百年以上続く制度で、公証人は法務大臣に任命され、県内には大津・八日市・長浜の3ヶ所しかありません。長浜は約50年前にでき、枝松先生で6代目だそうです。枝松先生は十数回の転勤を経て岐阜や大津の法務局長を歴任され、平成10年より長浜の公証人さんとして赴任された法律のプロです。

公証人役場さんでの主な業務は、会社の定款の認証、金銭の契約書、任意後見制度、遺言(公正証書遺言)、協議離婚の場合の公正証書の作成、立会い事実実験などです。



お工作中的の先生



長浜公証人役場
公証人 枝松 宏
住所 長浜市勝町715
TEL 638377
営業時間 8時~17時
定休日 土日、祝祭日他

一見、見慣れない言葉が並んでいますが、これらは私たちの身の回りでも起こりうる問題を書類として記録に残しておくという大切な事なのです。例えば、親子でない人に自分の面倒を見てもらう場合には任意後見制度、離婚して養育費を払ってもらう場合や不動産の賃貸借をする場合には公正証書、遺言にも自筆証書・秘密証書・公正証書と大きく3つの方法があるのですが、法的に最も効力があるのが公正証書遺言、と様々な形態に利用できるのです。

枝松先生ご夫妻にお話を聞きました。

「建物は便利で大変気に入っています。一番はやはりバリアフリーです。利用者には車椅子の方も多く、以前は2階だったのがかなり不自由でした。それが今では完全バリアフリーですので、利用者の方に大変喜んで頂いています。それと設計時に気を遣ったのが、「書類の保管」です。

最近では社会や人間関係が複雑になっていっています。また世相や高齢化を反映して様々な問題が生じています。私どもの仕事はそういった皆さんが生活される上で不安に思っている事や将来の事を、書類で残したり契約する事で一つ一つ解決していくことなのです。公正証書には何か問題が生じたときの強制力もありますし、出張での作成も可能です。まずはご相談にお越し頂けると、皆さんの道しるべになると思います。」

枝松先生の元には老若男女問わず、一般の方から法律の専門家まで幅広く相談に来られ、各市町村のよろず相談の窓口にもなっているようです。

利用しないにこした事ないかも知れませんが、私たちが生活していく上で将来起こりうる問題を未然に予防するためにも避けて通れないのではないのでしょうか。

「どんな事を相談したらいいかわからない」とお考えの方も一度相談に行かれてみて下さい。あなたの隠された問題が解決できるかもしれませんよ。



枝松ご夫妻



バリアフリーの事務所

8月20日(日)当社で「木の香まつり」を開催します!

今年も当社にて「第3回木の香まつり」を開催させて頂きます。

このお祭りは、地域の方との交流をより深め、また皆様に日頃のご愛顧に感謝の意を表して開催させて頂きます。

今回は、初の試みとして大道芸のプロを二人お招き致します。木工教室やタイルアートなどの体験コーナーは昨年同様に、またおなじみのピンゴゲームや飲食コーナーもパワーアップして開催させて頂きます。



去年の丸太切りの様子



去年のタイルアートの様子

さて、倶楽部通信第6号でもご紹介した通り、昨年はお祭りの収益金で「AED」を長浜西中学校さんに寄贈させて頂きました。今年もまつりの収益金を何らかの形で社会のお役に立てて頂こうと考えております。

素人の手づくりのイベントですが、心地よい木の香りが伝わるような、人と人のふれあいを大切にしたいお祭りになればと考えております。

ご家族揃ってお気軽にお越し下さい。

『長寿の家』 お客様紹介

川上 隆之様
末鈴様
ご夫妻



シーカーを振る
ご主人

今回取材させて頂いたお客様は、長浜市内の街中にたたずむ3階建ての黄色いお宅の川上様です。こだわりのゲストルームや、斬新なクロス・各階違う色の床やドアなど、全部にこだわった！と言われる川上様の個性溢れる今年1月に完成したばかりのオリジナルハウスをご紹介します。

ご主人自慢の(超こだわりの)ゲストルームは、冷蔵庫、シンク完備の一見バーのような雰囲気です！完成当初は、ほぼ毎週のように、お客さんが来られ、趣味であるお酒を振舞っておられたそうです。(最近もよくよく友人が来られてるそうです)お隣に住まれているご両親も飲みに来られおしゃべりに盛り上がりつつおられます。(ちなみにお子さんは立ち入り禁止の様子。)リキュール、ウィスキー、日本酒など、ずらっと50本以上は並んでいます。ちなみに奥さんの

『長寿の家』 お客様紹介

雨森 秀隆様
弘美様
ご夫妻



ご主人自慢の
書斎にて...

今回のお客様は、高月町唐川にお住まいの雨森様です。

リフォームしたくてイメージは出来ているが、どこまでリフォームで出来るのか分からず、どこに頼めばいいか悩んでいた時に、たまたま当社の新築完成見学会にご来場して頂いたのがきっかけで、3年前に当社に工事を依頼して頂きました。

雨森様は、アイデアを豊富に持っておられ、設計の段階からたくさんのご要望を頂いていました。予算の問題もありましたが、設備のメーカーを変更し、自分で買ってきたものを使用するなどしてこだわりを削らないように工夫されました。そのため雨森さんは、本当にたくさんのお金に足を運ばれました。

お気に入りのチョコ系リキュールは種類が多かったです。映画の中にお邪魔すると37型の大サイズテレビが目につきます。映画など、大音量で聞いておられるので、大音量で聞いてもアガラスのせいかな全然音がもれなくていいですよ。ご主人。ゲストルームから全開口サッシを開けると、部屋続きの開放的なフロアになるウッドデッキ。最近、ご家族揃ってバーベキューをされたそうです。

3Fの子供部屋は、下からの熱気と屋根の熱で厚くなると思っていました。3Fに窓があるので風通しがよく涼しい。将来的には12帖の子供部屋を間仕切る計画でしたが、この開放感が気に入っているので、このままにしておきたいです。雨の日はここで洗濯も干せるので、助かっています。と奥さん。



広々子ども部屋

「すごく努力し妥協しなかった分、良いものができ満足している」とおっしゃってくださいました。造り付けのカウンター収納にはミニシンクを要望され、それに合うものを探すのに大変苦労しましたが、雨森様にとっても喜んでもらえたことが嬉しかったです。「この時期お茶を冷やすのにすごく役に立つ」と毎日愛用して頂いています。取材に行った私がすごいと思ったのは、洗面所と洗濯室の壁の下に作られた引戸で脱いだ衣服を簡単に取ることが出来るようになっていたことでした。プロ並の発想にびっくりしました。



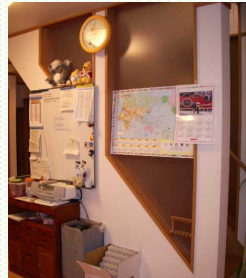
洗面所につながる引戸

天井は夜、電気を消すと光る壁紙になっていて、お子さんがすごく喜ばれているそうです。当初の新築予定地は、今両親が住んでいる隣の土地でした。その南側に3階建ての家があるため、光が入らないな「あ」と話していたら、両親が「ここに建てるか?」と言ってくれて、この場所に建てる事ができました。本当に何気なく両親がそう言ってくれて、その気持ちですごくありがたかったです。ね」と、ニコニコ話されていました。ご主人に「おしゃべりなLDK」



おしゃべりなLDK

「長住さんには工事中いろいろ申しましたが、そのおかげで大変満足な家になったと思っています。工事中はもちろのこと、構想から約1年半の間、長住の設計の一居さん西澤さん、現場監督の山根さんと打合せしたり、大工さんとたくさんしゃべったりとすごく楽しかったです。



明るいリビング階段

リビング階段はアクリルワロンという材料を使うことで壁が半透明になり、とても明るい階段になりました。

また、2階は勾配天井を上手くつかう事で広々ロフトをつくり、キッチン部分を見せ梁の吹き抜けにするなどこだわっておられ、特にキッチンの吹き抜けはご主人のお気に入りだそうです。(実は、ロフトやキッチンの梁はご主人自ら、朝の4時までかかって塗られました。)



キッチンの吹き抜け

「工事中の要望はメモを残して仕事に行き、帰った時には要望通りにしてもらっていたり、些細な事にも対応してもらってよかった。最初は工事をやるのを延ばそうと思つた時期もあったけど、設計士さんや

日々出来上がっていく家を早く見たいばかりに、会社を早引きました。会社を早引しては、良い思い出です。もうすぐ新居に移るの初めての夏です。3階のベランダからみられる花火が今からとても楽しみです。」



ご主人お気に入りカウンター引き出し

そんな雨森様の現在の夢は、いつかご夫婦の家を建てること。次は、どんなたくさんのおアイデア詰まったお家が出来るのかすごく楽しみです。ぜひ、その時はまた当社によろしくお願致します。

イベント報告

〈新築・リフォーム相談会〉

6月3日(土)4日(日)に当社2階ショールームにて、新築・リフォーム相談会を開催させて頂きました。お越し頂いたお客様は、皆様真剣に私達の説明を聞いて下さいました。



〈南部様邸完成見学会〉

7月8日(土)9日(日)に湖北町今にて、洋風住宅の完成見学会を開催させて頂きました。広々としたLDKを見て、思わず「いいなあ」と言われるお客様がたくさんおられました。



見学会をさせて頂き、誠にありがとうございました!!これからも定期的開催しますので、是非お立ち寄りください。

はぴeビルダー会に入会しました!

「はぴeビルダー会」には、関西電力さんの厳正な審査をクリアした会社のみ入会が可能な組織です。今後は、関西電力さんと当社がより深いパートナーシップのもと、皆様に安全・安心・快適な住まいづくりを提案致します。



詳しくは関西電力さんのホームページをご覧ください。
(http://www.denka-life.com/builder/)

社員紹介

今回は、今春より仲間入りしました新入社員2名をご紹介します。まずは、営業工務部の山原統太(やまはら)とひろです。2級建築士を取得していますが、分らない事ばかりで、日々勉強の毎日です。趣味は、小学生の頃から続けているサッカーで、根っからのスポーツマンです。会社でも爽やかな笑顔振りまっています。(田下談)



営業企画部の川村梨香(かわむら)りかです。山原と同じ専門学校で3年間建築を学び、2級建築士を取得して入社いたしました。趣味はスポーツ観戦(特にサッカー)で、ワールドカップサッカーもほとんどの試合を見ていたようです。(熊谷談)



2人共、まだまだ勉強中ですが、一日も早くお客様のお役に立てるよう頑張っておりますので、あたたかく見守ってください。

〈あとがき〉

暑さ厳しい中いかがお過ごしですか? ワールドカップサッカー中は寝不足の方もおられたのでは? イタリアの優勝で幕を閉じましたが、日本と世界の差を痛感した大会でもありました。やはり勝負の世界は厳しいですね。というより、やはり勝負は勝たねばいけませんし、それ以上に勝負するための準備が何よりも大切なんだなあと改めて感じました。

